

## 『さいせき・函館』…20120100号

2012年の幕開け、いかがお過ごしでしょうか。本年も宜しくお願い致します。  
北海道開発予算2012が暮れに決定致しました。

総額で**11年度当初比3・5%減の4305億円**となり、減少は12年連続ですが、減少率は前年度の8・2%に比べれば小さくなっています。一方、開発予算とは別枠で震災の復興対策費が上乗せされ、国土交通省北海道局が関係する公共事業費は実質増になっています。全国の公共事業費に占める道開発事業費の割合（北海道シェア）も4年ぶりに9%台を確保しました。公共事業の影響力が強い北海道の経済にとって、プラス材料ではあります。ただ、これで減少傾向に歯止めがかかったと安心できる状況にならない訳であります。

国の財政事情は極めて厳しく、再び大幅削減に転じる可能性も十分にあります。その中でそれを防ぐキーワードは、**投資の重点化**ではないか。とある新聞に出ておりました。

国交省は開発予算の概算要求段階で、東日本大震災を受けて◎**食料供給力の強化**、◎**災害対策**、◎**循環型社会の形成**という3分野での重点投資を打ち出しています。

こうした姿勢は、今後は大変に重要なポイントになると思います。

大震災の陰で一時的に沈静化してはしていますが、補助水準を他の都府県よりかさ上げする「北海道特例」や開発予算の一括計上権への厳しい見方は、いつ再燃するとも限りません。むしろ、震災で被災した東北地方の復興が本格化すれば、北海道の「特別扱い」に対する批判が強まることも予想されます。

首都圏などに比べ基盤整備が遅れているとアピールするだけでは、批判をはね返せないと思います。道や北海道局に対し、北海道の特性を生かした事業を積極的に展開し、その恩恵を国全体に広げていく発想が、これまで以上に求められるようにしたいものです。

道は、北海道を道外で発生した大規模災害の支援拠点にする「**バックアップ拠点構想**」を推進していかなくてはなりません。これからの開発予算に必要なのは、北海道の基盤整備だけではなく、**北海道から日本の未来を支える視点**を持つことが、北海道の産業構造を強化することになると思います。皆さん、何とか今年も頑張ってください。

今月の協会及び組合の動向そして報告事項をお知らせ致します。

### ◇（社）日本砕石協会の動向について…井上勝次会長年頭挨拶より

- ・協会として、年末に明るい話題がありました。ひとつは労災保険料金の低減。そして、軽油引取税の免税措置の3年間延長であります。しかしながら前者は、千分の58となりましたが、全55業種の中で、下から三番目であったものが四番目になったに過ぎませんし。後者も今後、恒久化を求める運動を継続していくことが必要と考えている。と同時に地方の声を協会活動に反映させていくとしています。

### ◇（社）日本砕石協会・北海道地方本部の動向について

- ・1月30日に**全国地方本部事務局長会議**が開催されます。その中でこの度の今問題となっている福島の『砕石』についても意見交換がなされる事と思しますので、次号に報告していきたいと思致します。
- ・**採石のための掘削作業主任者技能講習会の参加について**  
既に、北海道砕石だよりでご報告していると思致しますが、3月5日から6日に札幌市に於いて実施しますので、各社多数、担当従業員の方の講習参加をお願い致します。
- ・**平成24年度安全標語の募集について**  
「ゼロ災」を目指して安全標語を募集しています。締め切りは、3月6日まで…参加して下さい。

### ◇（社）日本砕石協会・北海道地方本部 函館支部の動向について

- ・2月15日に**新年懇親会**を開催致します。多数の参加をお願い致します。  
午後6時から函館国際ホテルにて会費制（5000円）で行います。当日は、同会場にて午後4時から役員及び正副委員長合同会議も行います。内容は、平成23年決算見込みと24年度に向けた収支予算が主な議題です。

以上 報告おわり

協会に対してのご要望・意見等がありましたら、いつでも連絡下さい。…吉田まで

